

アクセスマップ



所在地

宮沢清掃センター新最終処分場
富山県黒部市宮沢 99 番地

事業主体



新川広域圏事務組合

設計監理

株式会社中部設計

施工

佐藤工業・桜井建設・中山工業共同企業体



宮沢清掃センター 新最終処分場



新川広域圏事務組合

施設概要

- ◆施設名称：新川広域圏事務組合
宮沢清掃センター新最終処分場
- ◆所在地：黒部市宮沢 99 番地
- ◆敷地面積：45,239 m²
- ◆建築面積：3,965.76 m²
- ◆構造階数：鉄骨造平屋建て
- ◆屋根・外壁仕上げ：膜及び鋼板
- ◆埋立容量：54,000 m³
- ◆貯留構造物寸法：(内寸)幅30m×奥行き110m×深さ17m
- ◆埋立対象物：一般廃棄物（破碎不燃物）
- ◆埋立期間：平成 25 年度から約 15 年間

◆主要設備

- ・被覆設備
- ・遮水シート
- ・浸出水集排水設備
- ・雨水排水設備
- ・廃棄物投入設備
- ・散水設備
- ・ガス検知設備
- ・洗車設備
- ・TV 監視設備
- ・換気設備

施設の特徴

本施設は立地環境の保全を最優先に考えた被覆型の最終処分場であり、以下の特徴があります

1 周辺環境との調和

廃棄物・覆土等の粉塵や臭気の拡散がなく、周辺のコミュニティとの調和を図ることが可能です。

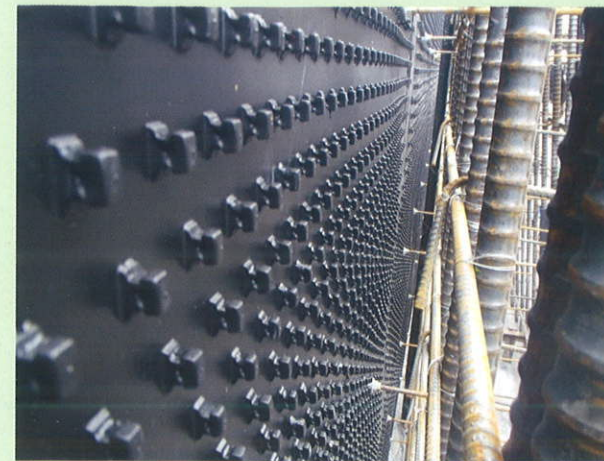
2 環境負荷の低減

埋立地内への降雨・降雪がないことから、浸出水が少なく、かつ平準化されます。このため水質汚染の心配が無く、遮水工の負荷も低減されることから、長期にわたって施設の健全性が維持されます。

3 施設機能の向上

冬期の降雪が避けられない富山県において埋立地に積雪の心配が無く、年間を通じ安定して廃棄物を受入れることができます。また、外部への廃棄物飛散がないことから覆土の量を抑えることができ、廃棄物の埋立空間を最大限に活かすことができます。

主要設備



◆遮水シート

耐久性の高い高密度ポリエチレン製のシートを採用しており、浸出水が外部に流出することを確実に防止します。シート背面に設置された突起により、シートと貯留構造物のコンクリートが一体化するため、シートの浮きや剥がれの心配がなく、長期にわたり健全な遮水性能を確保します。



◆浸出水集排水設備

埋立地内の浸出水等を効率的に集め、速やかに排出します。



◆廃棄物投入設備

廃棄物の投入は手動、自動、半自動の 3 モードから選択することができます。投入箇所は 102 箇所のブロックから選択することができます。



◆散水設備

廃棄物を安定化させるため散水を行います。薬剤を添加することで臭気を抑制することができます。



◆ガス検知設備

場内の酸素、可燃性ガス、有毒ガス等の濃度を管理棟のモニターで監視できます。

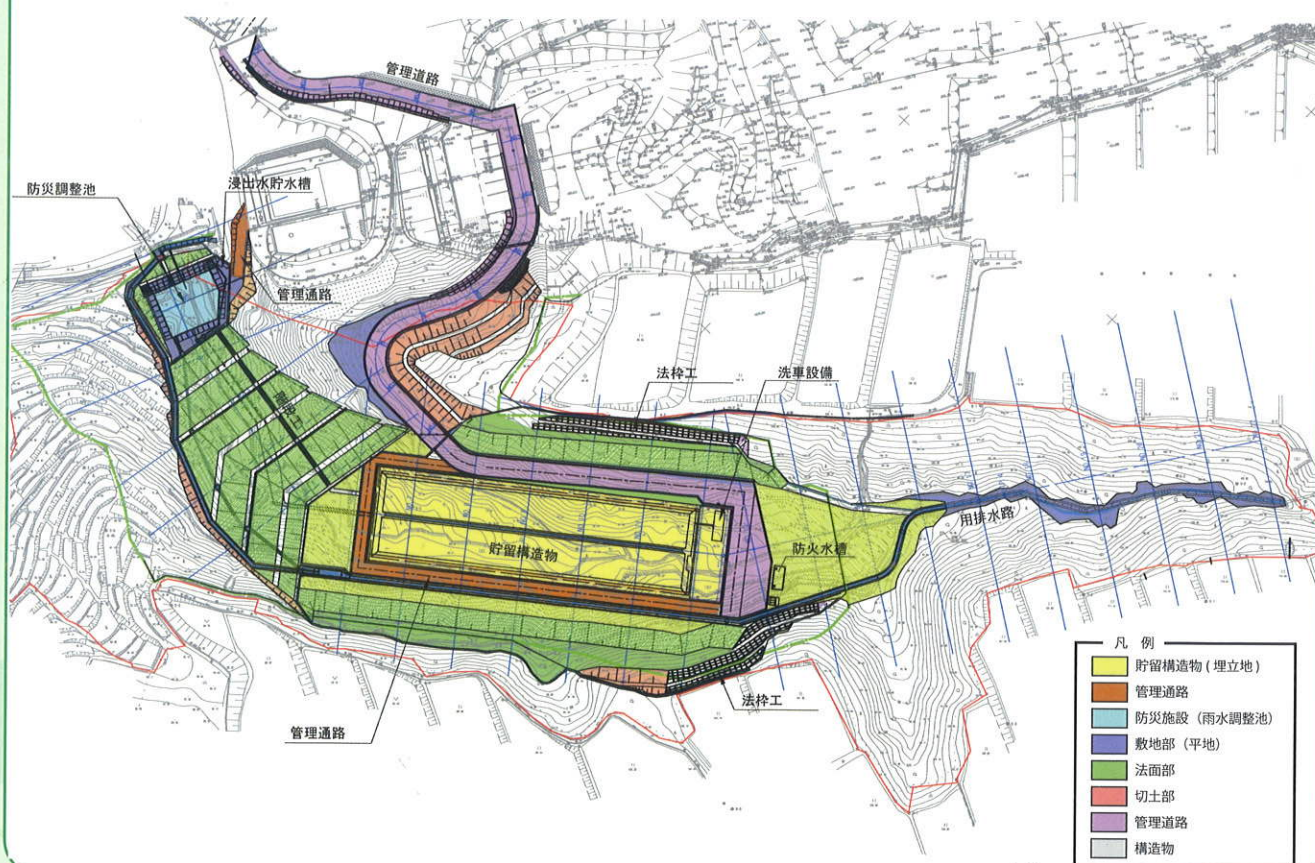


◆TV 監視設備

管理棟の TV モニターで場内の様子がリアルタイムで把握できます。

施設概要図

施設平面図



標準断面図

